

桑名松平家文書目録(請求記号順)

<凡例>

1. 本目録は慶應義塾大学三田メディアセンター所蔵「桑名松平家文書(桑名藩文書)」(請求記号:PR@1@1)の目録である。
2. 本目録は、文書全点を請求記号順に記したものである。
3. 史料の分類は慶應義塾大学文学部古文書室作成の「武家文書分類項目」に準拠した。
4. 文字表記は原則として現物の表記どおりとし、特殊な異体字は一部常用漢字に改めた。表記できない文字は=とし、備考欄に文字の説明を記した。
5. 表題は原表題(表紙外題・柱書)を採用した場合はそのまま記述し、必要に応じて()で内容を補った。
6. 年月日は和年号で記し、算用数字を用いて表記した。年代が判明しているものについては西暦も合わせて記載した。干支は年号の記載を欠く場合のみ記載した。史料内容から年代が推定できる場合は()で表記した。
7. 差出・作成、宛先は可能な限り原表記のまま採録した。但し、人数が多い場合は他〇名という形で略記した。花押は(花押)、印は(朱印)(黒印)等と表記した。
8. 形態は縦帳、横半帳、函に分類した。封紙・包紙・袋などは封と表記した。
9. 備考欄には文書の一括や一紙の挟み込み状況のほか、内容、形態などに関して参考となる情報を記した。
10. 取扱注意事項欄には資料の保存状態、取扱の際に留意すべき情報を記した。

平成25年9月
慶應義塾大学三田メディアセンター スペシャルコレクション担当

資料番号	表題	年月日	西暦	差出・作成	宛先	形態	法量 (縦×横 cm)	点数	備考	取扱注意事項 (挟み込み、保存 状態ほか)	分類 番号	分類名
1	御仕置例類集(古類集) 拾四之帳 盗物怪敷品 取扱候部	(明和8年～享和2年)	1771 ～ 1802			縦帳	29.0×20.5	1	外題「御仕置例類集 盗物 十四」		115	訴訟
2	御仕置例類集(古類集) 拾七之帳 等閑又は僮 忽之部	(明和8年～享和2年)	1771 ～ 1802			縦帳	29.0×20.8	1	外題「御仕置例類集 等閑 十七」		115	訴訟
3	御仕置例類集(古類集) 貳拾之帳 侍・出家・社 人・御用達・町人・小もの等之部	(明和8年～享和2年)	1771 ～ 1802			縦帳	29.0×20.5	1	外題「御仕置例類集 侍出家 二十」		115	訴訟
4	御仕置例類集(古類集) 貳拾貳之帳 侍・出家・ 社人・御用達・町人・小もの等之部	(明和8年～享和2年)	1771 ～ 1802			縦帳	29.3×20.7	1	外題「御仕置例類集 侍出家 二十 二」		115	訴訟
5	御仕置例類集(古類集) 貳拾三之帳 女之部	(明和8年～享和2年)	1771 ～ 1802			縦帳	29.2×20.7	1	外題「御仕置例類集 女 二十三」		115	訴訟
6	御仕置例類集(古類集) 貳拾四之帳 女之部	(明和8年～享和2年)	1771 ～ 1802			縦帳	29.3×20.8	1	外題「御仕置例類集 女 二十四」		115	訴訟
7	御仕置例類集(古類集) 貳拾九之帳 穢多非人 之部	(明和8年～享和2年)	1771 ～ 1802			縦帳	29.1×20.7	1	外題「御仕置例類集 穢多 二十九」		115	訴訟
8	御仕置例類集(新類集) 壹之帳 取計之部	(享和3年～文化11年)	1803 ～ 1814			縦帳	29.0×20.1	1		表紙題箋剥離	115	訴訟
9	御仕置例類集(新類集) 貳之帳 取計之部	(享和3年～文化11年)	1803 ～ 1814			縦帳	29.1×20.2	1	外題「御仕置例類集 取計 貳」		115	訴訟
10	御仕置例類集(新類集) 三之帳 取計之部	(享和3年～文化11年)	1803 ～ 1814			縦帳	29.0×20.2	1	外題「御仕置例類集 取計 三」		115	訴訟
11	御仕置例類集(新類集) 七之帳 賄賂之部・博 奕之部・附火之部	(享和3年～文化11年)	1803 ～ 1814			縦帳	29.0×20.3	1	外題「御仕置例類集 賄賂 七」		115	訴訟
12	御仕置例類集(新類集) 八之帳 巧事取拵之部	(享和3年～文化11年)	1803 ～ 1814			縦帳	29.0×20.2	1	外題「御仕置例類集 巧事 八」		115	訴訟

資料番号	表題	年月日	西暦	差出・作成	宛先	形態	法量 (縦×横 cm)	点数	備考	取扱注意事項 (挟み込み、保存 状態ほか)	分類 番号	分類名
13	御仕置例類集(新類集) 九之帳 巧事取拵之部	(享和3年～文化11年)	1803 ～ 1814			縦帳	29.0×20.2	1	外題「御仕置例類集 巧事 九」		115	訴訟
14	御仕置例類集(新類集) 拾之帳 巧事取拵之部	(享和3年～文化11年)	1803 ～ 1814			縦帳	29.0×20.3	1	外題「御仕置例類集 巧事 拾」		115	訴訟
15	御仕置例類集(新類集) 拾壹之帳 盜賊之部	(享和3年～文化11年)	1803 ～ 1814			縦帳	29.0×20.2	1	外題「御仕置例類集 盜賊 十一」		115	訴訟
16	御仕置例類集(新類集) 拾貳之帳 盜賊之部	(享和3年～文化11年)	1803 ～ 1814			縦帳	29.0×20.2	1	外題「御仕置例類集 盜賊 十二」		115	訴訟
17	御仕置例類集(新類集) 拾三之帳 盜賊之部	(享和3年～文化11年)	1803 ～ 1814			縦帳	29.1×20.3	1	外題「御仕置例類集 盜賊 十三」		115	訴訟
18	御仕置例類集(新類集) 拾四之帳 盜物怪敷品 取扱候部	(享和3年～文化11年)	1803 ～ 1814			縦帳	29.2×20.2	1	外題「御仕置例類集 盜物 十四」		115	訴訟
19	御仕置例類集(新類集) 拾七之帳 人殺疵附狼 藉等之部	(享和3年～文化11年)	1803 ～ 1814			縦帳	29.0×20.3	1	外題「御仕置例類集 人殺 十七」		115	訴訟
20	御仕置例類集(新類集) 拾八之帳 等閑又は危 忽之部	(享和3年～文化11年)	1803 ～ 1814			縦帳	29.0×20.3	1	外題「御仕置例類集 等閑 十八」		115	訴訟
21	御仕置例類集(新類集) 貳拾貳之帳 侍・出家・ 社人・御用達・町人・小もの等之部	(享和3年～文化11年)	1803 ～ 1814			縦帳	29.0×20.0	1	外題「御仕置例類集 侍出家 二十 二」		115	訴訟
22	御仕置例類集(新類集) 貳拾五之帳 密通之部・ 老幼并愚昧片輪等之部	(享和3年～文化11年)	1803 ～ 1814			縦帳	29.0×20.1	1	外題「御仕置例類集 密通 二十五」		115	訴訟
23	御仕置例類集(新類集) 貳拾六之帳 自訴并速 二白状又は旧悪等之部	(享和3年～文化11年)	1803 ～ 1814			縦帳	29.0×20.2	1	外題「御仕置例類集 自訴 二十六」		115	訴訟
24	御仕置例類集(新類集) 貳拾七之帳 一旦御仕 置二成候後又は吟味中等二悪事いたし候部	(享和3年～文化11年)	1803 ～ 1814			縦帳	29.0×20.0	1	外題「御仕置例類集 一旦 二十七」		115	訴訟
25	御仕置例類集(天保類集) 壹之帳 取計之部	(文政10年～天保10 年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.0×19.9	1	外題「御仕置例類集 取計 壹」		115	訴訟
26	御仕置例類集(天保類集) 貳之帳 取計之部	(文政10年～天保10 年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.0×19.9	1	外題「御仕置例類集 取計 貳」		115	訴訟
27	御仕置例類集(天保類集) 三之帳 取計之部	(文政10年～天保10 年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.0×19.9	1	外題「御仕置例類集 取計 三」		115	訴訟
28	御仕置例類集(天保類集) 四之帳 取計之部	(文政10年～天保10 年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.0×19.9	1	外題「御仕置例類集 取計 四」	一部虫損による欠 損あり	115	訴訟
29	御仕置例類集(天保類集) 拾壹之帳 取計之部	(文政10年～天保10 年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.0×20.1	1	外題「御仕置例類集 取計 十一」		115	訴訟
30	御仕置例類集(天保類集) 拾貳之帳 取計之部	(文政10年～天保10 年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.0×20.0	1	外題「御仕置例類集 取計 十二」		115	訴訟
31	御仕置例類集(天保類集) 拾三之帳 取計之部	(文政10年～天保10 年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.0×20.0	1	外題「御仕置例類集 取計 十三」		115	訴訟

資料番号	表題	年月日	西暦	差出・作成	宛先	形態	法量 (縦×横 cm)	点数	備考	取扱注意事項 (挟み込み、保存 状態ほか)	分類 番号	分類名
32	御仕置例類集(天保類集) 拾四之帳 掟事并御触申渡等を背候部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.1×19.8	1	外題「御仕置例類集 掟事 十四」		115	訴訟
33	御仕置例類集(天保類集) 拾五之帳 掟事并御触申渡等を背候部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.1×20.0	1		表紙題箋剥離	115	訴訟
34	御仕置例類集(天保類集) 拾六之帳 掟事并御触申渡等を背候部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.0×20.2	1	外題「御仕置例類集 掟事 十六」		115	訴訟
35	御仕置例類集(天保類集) 拾八之帳 賄路之部・博奕之部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.0×20.2	1	外題「御仕置例類集 賄路・博奕 十八」		115	訴訟
36	御仕置例類集(天保類集) 拾九之帳 賄路之部・博奕之部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.0×20.0	1	外題「御仕置例類集 賄路・博奕 十九」		115	訴訟
37	御仕置例類集(天保類集) 貳拾之帳 巧事取拵之部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.0×20.2	1		表紙題箋剥離	115	訴訟
38	御仕置例類集(天保類集) 貳拾壹之帳 巧事取拵之部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.0×20.0	1	外題「御仕置例類集 巧事 二十一」		115	訴訟
39	御仕置例類集(天保類集) 貳拾貳之帳 巧事取拵之部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.0×20.0	1	外題「御仕置例類集 巧事 二十二」		115	訴訟
40	御仕置例類集(天保類集) 貳拾三之帳 巧事取拵之部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.1×20.0	1	外題「御仕置例類集 巧事 二十三」		115	訴訟
41	御仕置例類集(天保類集) 貳拾四之帳 巧事取拵之部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.1×19.9	1	外題「御仕置例類集 巧事 二十四」		115	訴訟
42	御仕置例類集(天保類集) 貳拾五之帳 盜賊之部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.0×20.0	1	外題「御仕置例類集 盜賊 二十五」		115	訴訟
43	御仕置例類集(天保類集) 貳拾六之帳 盜賊之部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.1×20.0	1	外題「御仕置例類集 盜賊 二十六」		115	訴訟
44	御仕置例類集(天保類集) 貳拾七之帳 盜賊之部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.0×20.0	1		表紙題箋剥離	115	訴訟
45	御仕置例類集(天保類集) 貳拾八之帳 盜賊之部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.1×20.0	1	外題「御仕置例類集 盜物 二十八」		115	訴訟
46	御仕置例類集(天保類集) 貳拾九之帳 盜賊之部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.3×20.0	1	外題「御仕置例類集 盜物 二十九」		115	訴訟
47	御仕置例類集(天保類集) 三拾之帳 盜物怪敷品取扱候部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.1×20.0	1	外題「御仕置例類集 盜物 三十」		115	訴訟
48	御仕置例類集(天保類集) 三拾壹之帳 盜物怪敷品取扱候部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.0×20.0	1	外題「御仕置例類集 盜物 三十一」		115	訴訟
49	御仕置例類集(天保類集) 三拾貳之帳 盜物怪敷品取扱候部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.2×20.0	1	外題「御仕置例類集 盜物 三十二」		115	訴訟
50	御仕置例類集(天保類集) 三拾三之帳 盜物怪鋪品取扱候部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.0×20.0	1	外題「御仕置例類集 盜物 三十三」		115	訴訟

資料番号	表題	年月日	西暦	差出・作成	宛先	形態	法量 (縦×横 cm)	点数	備考	取扱注意事項 (挟み込み、保存 状態ほか)	分類 番号	分類名
51	御仕置例類集(天保類集) 三拾四之帳 人殺疵 附狼藉等之部	(文政10年～天保10 年)	1827 ～ 1839			豎帳	29.0×20.0	1	外題「御仕置例類集 人殺 三十四」		115	訴訟
52	御仕置例類集(天保類集) 三拾五之帳 人殺疵 附狼藉等之部	(文政10年～天保10 年)	1827 ～ 1839			豎帳	29.0×20.0	1	外題「御仕置例類集 人殺 三十五」		115	訴訟
53	御仕置例類集(天保類集) 三拾六之帳 等閑又 は鹿忽之部	(文政10年～天保10 年)	1827 ～ 1839			豎帳	29.0×20.0	1	外題「御仕置例類集 等閑 三十六」		115	訴訟
54	御仕置例類集(天保類集) 三拾七之帳 等閑又 は鹿忽之部	(文政10年～天保10 年)	1827 ～ 1839			豎帳	29.0×20.0	1	外題「御仕置例類集 等閑 三十七」		115	訴訟
55	御仕置例類集(天保類集) 三拾八之帳 等閑又 は鹿忽之部	(文政10年～天保10 年)	1827 ～ 1839			豎帳	29.0×20.0	1	外題「御仕置例類集 等閑 三十八」		115	訴訟
56	御仕置例類集(天保類集) 三拾九之帳 等閑又 は鹿忽之部	(文政10年～天保10 年)	1827 ～ 1839			豎帳	29.0×20.0	1	外題「御仕置例類集 等閑 三十九」		115	訴訟
57	御仕置例類集(天保類集) 四拾之帳 等閑又 は鹿忽之部	(文政10年～天保10 年)	1827 ～ 1839			豎帳	29.0×20.0	1	外題「御仕置例類集 等閑 四十」		115	訴訟
58	御仕置例類集(天保類集) 四拾壹之帳 等閑又 は鹿忽之部	(文政10年～天保10 年)	1827 ～ 1839			豎帳	29.1×20.0	1	外題「御仕置例類集 等閑 四十一」		115	訴訟
59	御仕置例類集(天保類集) 四拾貳之帳 侍・出 家・社人・御用達・町人・小者等之部	(文政10年～天保10 年)	1827 ～ 1839			豎帳	29.2×20.0	1	外題「御仕置例類集 等閑 四十二」		115	訴訟
60	御仕置例類集(天保類集) 四拾三之帳 侍・出 家・社人・御用達・町人・小者等之部	(文政10年～天保10 年)	1827 ～ 1839			豎帳	29.1×20.1	1	外題「御仕置例類集 侍 四十三」		115	訴訟
61	御仕置例類集(天保類集) 四拾四之帳 侍・出 家・社人・御用達・町人・小者等之部	(文政10年～天保10 年)	1827 ～ 1839			豎帳	29.2×20.0	1	外題「御仕置例類集 侍 四十四」		115	訴訟
62	御仕置例類集(天保類集) 四拾五之帳 侍・出 家・社人・御用達・町人・小者等之部	(文政10年～天保10 年)	1827 ～ 1839			豎帳	29.2×20.0	1	外題「御仕置例類集 侍 四十五」		115	訴訟
63	御仕置例類集(天保類集) 四拾六之帳 侍・出 家・社人・御用達・町人・小者等之部	(文政10年～天保10 年)	1827 ～ 1839			豎帳	29.3×20.1	1	外題「御仕置例類集 侍 四十六」		115	訴訟
64	御仕置例類集(天保類集) 四拾八之帳 侍・出 家・社人・御用達・町人・小者等之部	(文政10年～天保10 年)	1827 ～ 1839			豎帳	29.3×20.1	1	外題「御仕置例類集 侍 四十八」	表紙題箋一部糊 はがれ	115	訴訟
65	御仕置例類集(天保類集) 四拾九之帳 侍・出 家・社人・御用達・町人・小者等之部	(文政10年～天保10 年)	1827 ～ 1839			豎帳	29.2×20.0	1	外題「御仕置例類集 侍 四十九」		115	訴訟
66	御仕置例類集(天保類集) 五拾之帳 侍・出家・ 社人・御用達・町人・小者等之部	(文政10年～天保10 年)	1827 ～ 1839			豎帳	29.3×20.0	1	外題「御仕置例類集 侍 五十」		115	訴訟
67	御仕置例類集(天保類集) 五拾壹之帳 侍・出 家・社人・御用達・町人・小者等之部	(文政10年～天保10 年)	1827 ～ 1839			豎帳	29.1×20.0	1	外題「御仕置例類集 侍 五十一」		115	訴訟
68	御仕置例類集(天保類集) 五拾貳之帳 女之部	(文政10年～天保10 年)	1827 ～ 1839			豎帳	29.1×20.0	1	外題「御仕置例類集 女 五十二」		115	訴訟
69	御仕置例類集(天保類集) 五拾三之帳 女之部	(文政10年～天保10 年)	1827 ～ 1839			豎帳	29.1×20.1	1	外題「御仕置例類集 女 五十三」		115	訴訟

資料番号	表題	年月日	西暦	差出・作成	宛先	形態	法量 (縦×横 cm)	点数	備考	取扱注意事項 (挟み込み、保存 状態ほか)	分類 番号	分類名
70	御仕置例類集(天保類集) 五拾四之帳 女之部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.0×20.1	1	外題「御仕置例類集 女 五十四」		115	訴訟
71	御仕置例類集(天保類集) 五拾五之帳 女之部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.2×20.0	1	外題「御仕置例類集 女 五十五」		115	訴訟
72	御仕置例類集(天保類集) 五拾六之帳 密通之部・老幼并愚昧片輪乱心等之部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.0×20.0	1	外題「御仕置例類集 密通老幼 五十六」		115	訴訟
73	御仕置例類集(天保類集) 五拾七之帳 自訴并速二白状又は旧悪其外御仕置宥恕之部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.1×20.1	1	外題「御仕置例類集 自訴 五十七」		115	訴訟
74	御仕置例類集(天保類集) 五拾八之帳 自訴并速二白状又は旧悪其外御仕置宥恕之部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.0×20.1	1	外題「御仕置例類集 自訴 五十八」		115	訴訟
75	御仕置例類集(天保類集) 五拾九之帳 一旦御仕置二成候後又は吟味中等二悪事いたし候部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.2×19.9	1		表紙題箋剥離	115	訴訟
76	御仕置例類集(天保類集) 六拾之帳 一旦御仕置二成候後又は吟味中等二悪事いたし候部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.0×20.1	1	外題「御仕置例類集 一旦御仕置出所不正 六十」		115	訴訟
77	御仕置例類集(天保類集) 六拾壹之帳 主従親族等二拘候もの之部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.2×20.0	1		表紙題箋剥離	115	訴訟
78	御仕置例類集(天保類集) 六拾貳之帳 主従親族等二拘候もの之部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.0×20.0	1	外題「御仕置例類集 主従親族 六十二」		115	訴訟
79	御仕置例類集(天保類集) 六拾三之帳 穢多非人之部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.3×20.2	1	外題「御仕置例類集 穢多 六十三」		115	訴訟
80	御仕置例類集(天保類集) 六拾四之帳 穢多非人之部	(文政10年～天保10年)	1827 ～ 1839			縦帳	29.2×20.1	1	外題「御仕置例類集 穢多 六十四」		115	訴訟
81	就 將軍宣下 上使一件 御贈官位御礼御使留附	天明6年～7年	1786 ～ 1787	戸田因幡守(忠寛)留 從脇坂淡路守(安 宅)・本多美濃守 (忠民)借写 酒井若 狭守(忠義)		横半帳	13.3×19.9	1	見返しに「此本書十二折一帙雖相伝 来令改写横冊者也」、小口に「將軍宣 下大上使一件」とあり。	虫損大	110	勤仕
82	壽明君御方御縁組一件草稿 上	嘉永1年12月22日～嘉 永2年11月12日	1848 ～ 1849	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.5×19.7	1	小口に「御縁組一件」「上」とあり。	虫損大	110	勤仕
83	壽明君御方御縁組一件草稿 下	嘉永2年11月13日～嘉 永3年4月1日	1849 ～ 1850	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.4×19.7	1	小口に「御縁組一件」「下」とあり。	虫損大	110	勤仕
84	上京旅行日記	天保11年2月23日～3 月7日	1840	牧野備前守(忠雅)留 借写 酒井若狭守 (忠義)		横半帳	13.6×19.7	1	小口に「上京旅行日記」とあり。	虫損大	110	勤仕
85	上京旅行日記 全	天保14年12月11日～ 12月23日	1843	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.3×19.7	1	小口に「上京旅行日記」とあり。	虫損大	110	勤仕
86	仁孝天皇崩御一件日記	弘化3年1月26日～11 月25日	1846	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.0×19.7	1	小口に「弘化丙午仁孝天皇崩御一件 日記」「全」とあり。	虫損大	110	勤仕
87	新清和院崩御一件 全	弘化3年6月20日～10 月10日	1846	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.2×19.7	1	小口に「口(ゆがみにより解読不可能) 崩御一件」「全」とあり。	虫損大	110	勤仕
88	大嘗(嘗)會一件 全	弘化4年3月～嘉永2年 3月	1847 ～ 1849	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.2×19.5	1	小口に「大嘗會一件」「全」とあり。	虫損大	110	勤仕
89	伺御機嫌参府日記 上 京地并旅中之分	嘉永3年4月27日～5月 20日	1850	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.1×19.8	1	小口に「伺参府日記」「上」とあり。	虫損大	110	勤仕

資料番号	表題	年月日	西暦	差出・作成	宛先	形態	法量 (縦×横 cm)	点数	備考	取扱注意事項 (挟み込み、保存 状態ほか)	分類 番号	分類名
90	伺御機嫌参府日記 下 在府中之分	嘉永3年5月21日～7月27日	1850	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.1×19.7	1	小口に「伺参府日記」「下」とあり。	虫損大	110	勤仕
91	所司代在府中日記 上	天保11年1月13日～1月30日	1840	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.5×19.7	1	小口に「長岡在府日記」「上」とあり。内容は1月12日から。	虫損大	110	勤仕
92	所司代在府中日記 下	天保11年2月1日～2月22日	1840	牧野備前守(忠雅)留借写、酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.5×19.7	1	小口に「長岡在府日記」「下」とあり。	虫損大	110	勤仕
93	所司代在府中日記 全	天保14年11月3日～12月10日	1843	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.0×19.5	1	小口に「在府日記」「全」とあり。	虫損大	110	勤仕
94	所司代在府中日記 上	嘉永3年9月1日～9月29日	1850	内藤紀伊守(信親)留従脇坂淡路守(安宅)・本多美濃守(忠民)借写 酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.2×19.8	1	小口に「村上在府日記」「上」とあり。	虫損大	110	勤仕
95	所司代在府中日記 下	嘉永3年10月1日～10月24日	1850	内藤紀伊守(信親)留従脇坂淡路守(安宅)・本多美濃守(忠民)借写 酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.1×19.7	1	小口に「村上在府日記」「下」とあり。	虫損大	110	勤仕
96	所司代在府中日記 上	嘉永4年12月21日～嘉永5年1月30日	1851～1852	脇坂淡路守(安宅)留自本多美濃守(忠民)借写 酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.0×19.8	1	小口に「竜野在府日記」「上」とあり。	虫損大	110	勤仕
97	所司代在府中日記 下	嘉永5年2月1日～閏2月10日	1852	脇坂淡路守(安宅)留従本多美濃守(忠民)借写 酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.2×19.8	1	小口に「竜野在府日記」「下」とあり。	虫損大	110	勤仕
98	所司代日記 一	天保11年3月8日～3月29日	1840	牧野備前守(忠雅)留借写 酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.4×19.7	1	小口に「牧野 庚子 従三月八日至同月廿九日」「一」とあり。	虫損大	110	勤仕
99	所司代日記 (二)	弘化1年1月～3月	1844	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.2×19.7	1	小口に「日記 甲辰 従正月至三月」「二」とあり。	虫損大、一部破損	110	勤仕
100	所司代日記 三	弘化1年4月～6月	1844	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.1×19.7	1	小口に「日記 甲辰 従四月至六月」「三」とあり。	虫損大	110	勤仕
101	所司代日記 四	弘化1年7月～9月	1844	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.1×19.8	1	小口に「日記 甲辰 従七月至九月」「四」とあり。	虫損大	110	勤仕
102	所司代日記 五	弘化1年10月～12月	1844	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.0×19.8	1	小口に「日記 甲辰 従十月至十二月」「五」とあり。	虫損大	110	勤仕
103	所司代日記 六	弘化2年1月～3月	1845	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.1×19.7	1	小口に「日記 乙巳 従正月至三月」「六」とあり。	虫損大	110	勤仕
104	所司代日記 (七)	弘化2年4月～6月	1845	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.0×19.2	1	小口に「日記 乙巳 従四月至六月」「七」とあり。	虫損大	110	勤仕
105	所司代日記 八	弘化2年7月～9月	1845	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.1×19.8	1	小口に「日記 乙巳 従七月至九月」「八」とあり。	虫損大	110	勤仕
106	所司代日記 九	弘化2年10月～12月	1845	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.1×19.8	1	小口に「日記 乙巳 従十月至十二月」「九」とあり。	虫損大	110	勤仕
107	所司代日記 十	弘化3年1月～3月	1846	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.3×19.4	1	小口に「日記 丙午 従正月至三月」「十」とあり。	虫損大	110	勤仕
108	所司代日記 十一	弘化3年4月～6月	1846	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.2×19.8	1	小口に「日記 丙午 従四月至六月」「十一」とあり。	虫損大	110	勤仕
109	所司代日記 十二	弘化3年7月～9月	1846	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.2×19.7	1	小口に「日記 丙午 従七月至九月」「十二」とあり。	虫損大	110	勤仕
110	所司代日記 十三	弘化3年10月～12月	1846	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.2×19.7	1	小口に「日記 丙午 従十月至十二月」「十三」とあり。	虫損大	110	勤仕
111	所司代日記 十四	弘化4年1月～3月	1847	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.1×19.8	1	小口に「日記 丁未 従正月至三月」「十四」とあり。	虫損大	110	勤仕
112	所司代日記 十五	弘化4年4月～6月	1847	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.1×19.7	1	小口に「日記 丁未 従四月至六月」「十五」とあり。	虫損大	110	勤仕

資料番号	表題	年月日	西暦	差出・作成	宛先	形態	法量 (縦×横 cm)	点数	備考	取扱注意事項 (挟み込み、保存 状態ほか)	分類 番号	分類名
113	所司代日記 十六	弘化4年7月～9月	1847	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.1×19.8	1	小口に「日記 丁未 從七月至九月」 「十六」とあり。	虫損大	110	勤仕
114	所司代日記 十七	(弘化4年)10月～12月	1847	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.1×19.9	1	小口に「日記 丁未 從十月至十二 月」「十七」とあり。	虫損大、一部フケ	110	勤仕
115	所司代日記 十八	嘉永1年1月1日～3月 29日	1848	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.1×19.8	1	小口に「日記 戊申 從正月至三月」 「十八」とあり。	虫損大	110	勤仕
116	所司代日記 十九	嘉永1年4月～6月	1848	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.0×19.5	1	小口に「日記 戊申 從四月至六月」 「十九」とあり。	虫損大	110	勤仕
117	所司代日記 二十	嘉永1年7月～9月	1848	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.3×19.4	1	小口に「日記 戊申 從七月至九月」 「二十」とあり。	虫損大	110	勤仕
118	所司代日記 廿一	嘉永1年10月～12月	1848	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.2×19.4	1	小口に「日記 戊申 從十月至十二 月」「廿一」とあり。	虫損大	110	勤仕
119	所司代日記 廿二	嘉永2年1月～3月	1849	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.2×19.5	1	小口に「日記 己酉 從正月至三月」 「廿二」とあり。	虫損大	110	勤仕
120	所司代日記 廿四	嘉永2年7月～9月	1849	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.3×19.5	1	小口に「日記 己酉 從七月至九月」 「廿四」とあり。	虫損大	110	勤仕
121	所司代日記 廿五	嘉永2年10月～12月	1849	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.4×19.5	1	小口に「日記 己酉 從十月至十二 月」「廿五」とあり。	虫損大	110	勤仕
122	所司代日記 廿六	嘉永3年1月～5月	1850	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.0×19.7	1	小口に「日記 庚戌 從正月至五月」 「廿六」とあり。	虫損大	110	勤仕
123	在府中所司代日記	安政4年8月～10月	1857	本多美濃守(忠民)留 借写、酒井若狭守 (忠義)		横半帳	13.2×19.8	1	小口に「岡崎在府日記」とあり。	虫損大	110	勤仕
124	所司代日記 一	安政4年11月12日～12 月30日	1857	本多美濃守(忠民)留 借写、酒井若狭守 (忠義)		横半帳	13.1×19.8	1	小口に「岡崎 丁巳 從十一月至十二 月」「一」とあり。	虫損大	110	勤仕
125	所司代日記 二	安政5年1月～5月29日	1858	本多美濃守(忠民)留 借写、酒井若狭守 (忠義)		横半帳	13.2×19.8	1	小口に「岡崎 戊午 從正月至五月」 とあり。	虫損大	110	勤仕
126	所司代在府中日記 全	安政5年6月26日～8月 15日	1858	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.1×19.5	1	小口に「在府中日記」。内容は6月25 日から。	虫損大	110	勤仕
127	上京旅行日記	安政5年8月16日～9月 2日	1858	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.1×19.7	1	小口に「上京旅行日記」とあり。	虫損大	110	勤仕
128	所司代日記	文久3年8月5日～10月 晦	1863	稲葉長門守(正邦)		横半帳	12.9×19.3	1	小口に「文久亥秋所司代日記」とあ り。	虫損大	110	勤仕
129	和宮様御縁組御下向一件 仁	万延1年8月～11月	1860	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.0×19.7	1	小口に「御下向一件」「一」とあり。	虫損大	110	勤仕
130	和宮様御縁組御下向一件 義	万延1年12月	1860	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.0×19.7	1	小口に「御下向一件」「二」とあり。	虫損大	110	勤仕
131	和宮様御縁組御下向一件 礼	文久1年1月～6月	1861	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.1×19.7	1	小口に「御下向一件」「三」とあり。	虫損大	110	勤仕
132	和宮様御縁組御下向一件 智	文久1年7月～12月	1861	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.0×19.7	1	小口に「御下向一件」「四」とあり。	虫損大	110	勤仕
133	和宮様御縁組御下向一件 信	文久2年1月～4月	1862	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.0×19.7	1	小口に「御下向一件」「五」とあり。	虫損大	110	勤仕
134	所司代日記 一	安政5年9月～10月	1858	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.0×19.8	1	小口に「日記 戊午 從九月至十月」 「一」とあり。	虫損大	110	勤仕
135	所司代日記 二	安政5年11月～12月	1858	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.0×19.8	1	小口に「日記 戊午 從十一月至十二 月」「二」とあり。	虫損大	110	勤仕
136	所司代日記 三	安政6年1月～3月	1859	酒井若狭守(忠義)		横半帳	12.9×19.8	1	小口に「日記 己未 從正月至三月」 「三」とあり。	虫損大	110	勤仕
137	所司代日記 四	(安政6年)4月～6月	1859	酒井若狭守(忠義)		横半帳	12.9×19.9	1	小口に「日記 己未 從四月至六月」 「四」とあり。	虫損大	110	勤仕
138	所司代日記 五	安政6年7月～9月	1859	酒井若狭守(忠義)		横半帳	12.9×19.8	1	小口に「日記 己未 從七月至九月」 「五」とあり。	虫損大	110	勤仕
139	所司代日記 六	安政6年10月～12月	1859	酒井若狭守(忠義)		横半帳	12.9×19.8	1	小口に「日記 己未 從十月至十二 月」「六」とあり。	虫損大	110	勤仕
140	所司代日記 七	万延1年1月～閏3月	1860	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.0×19.7	1	小口に「日記 庚申 從正月至閏三 月」「七」とあり。	虫損大	110	勤仕
141	所司代日記 八	万延1年4月～6月	1860	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.0×19.8	1	小口に「日記 庚申 從四月至六月」 「八」とあり。	虫損大	110	勤仕
142	所司代日記 九	万延1年(7月～9月)	1860	(酒井若狭守)(忠義)		横半帳	13.1×19.8	1	小口に「日記 庚申 從七月至九月」 とあり。	虫損大	110	勤仕

資料番号	表題	年月日	西暦	差出・作成	宛先	形態	法量 (縦×横 cm)	点数	備考	取扱注意事項 (挟み込み、保存 状態ほか)	分類 番号	分類名
143	所司代日記 十	万延1年10月～12月	1860	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.0×19.6	1	小口に「日記 庚申 従十月至十二月」「十」とあり。	虫損大	110	勤仕
144	所司代日記 十一	文久1年1月～3月	1861	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.0×19.6	1	小口に「日記 辛酉 従正月至三月」「十一」とあり。	虫損大	110	勤仕
145	所司代日記 十二	文久1年4月～6月	1861	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.0×19.6	1	小口に「日記 辛酉 従四月至六月」「十二」とあり。	虫損大	110	勤仕
146	所司代日記 十三	文久1年7月～9月	1861	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.0×19.7	1	小口に「日記 辛酉 従七月至九月」「十三」とあり。	虫損大	110	勤仕
147	所司代日記 十四	文久1年10月～12月	1861	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.0×19.7	1	小口に「日記 辛酉 従十月至十二月」「十四」とあり。	虫損大	110	勤仕
148	所司代日記 十五	文久2年1月～3月	1862	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.0×19.7	1	小口に「日記 壬戌 従正月至三月」「十五」とあり。	虫損大	110	勤仕
149	所司代日記 十六	文久2年4月～7月	1862	酒井若狭守(忠義)		横半帳	13.0×19.7	1	小口に「日記 壬戌 従四月至七月」「十六」とあり。	虫損大	110	勤仕
150	(御小姓勤方留書)	(江戸後期)		御小姓		横半帳	13.5×19.0	1	「新役被仰付候節之事」「御供之部」など全17項目。年代は天保から万延。	虫損大	110	勤仕
151	申送帳(家内諸事覚書)	(明治3年5月～明治4年1月)	(1870～1871)	御家扶局		横半帳	12.2×17.3	1	贈答、家計、屋敷、その他諸々の出来事を日付ごとに書き上げたもの。	虫損大	126	生活・書簡
152	勤例類彙 吉宗公御他界之一件	(宝暦元年)	1751			縦帳	27.1×19.4	1	「順正館」「桑名文庫」「菊」の朱印あり。152～164一括。	虫損大	110	勤仕
153	勤例類彙 吉宗公御隠居家重公將軍宣下	(延享2～5年)	1744～1748			縦帳	27.1×19.5	1	「順正館」「桑名文庫」「菊」の朱印あり。152～164一括。内題「將軍吉宗公御隠居右大将家重公御相続一件」。	虫損大	110	勤仕
154	勤例類彙 若君様御誕生	(宝暦12年)	1762			縦帳	27.1×19.4	1	「順正館」「桑名文庫」「菊」の朱印あり。152～164一括。内題「宝暦十二壬午歳若君様御誕生一件」。若君様は徳川家基。	虫損大	110	勤仕
155	勤例類彙 宝暦十一年御法会	宝暦11年(6月～)	1761			縦帳	27.1×19.5	1	「順正館」「桑名文庫」「菊」の朱印あり。152～164一括。	虫損大	110	勤仕
156	勤例類彙 御転任 御兼任	(宝暦10年)	1760			縦帳	27.2×19.4	1	「順正館」「桑名文庫」「菊」の朱印あり。152～164一括。内題「將軍家重公御転任大納言家治公御兼任御規式一件」。	虫損大	110	勤仕
157	勤例類彙 目録					縦帳	26.9×19.4	1	「順正館」「桑名文庫」「菊」の朱印あり。152～164一括。若君様は徳川家重。	虫損大	110	勤仕
158	勤例類彙 一 御元服(若君様御元服)	(享保10年4月)	1725			縦帳	27.1×19.4	1	「順正館」「桑名文庫」「菊」の朱印あり。152～164一括。若君様は徳川家重。	虫損大	110	勤仕
159	勤例類彙 二 回状雑集	(享保～安永)				縦帳	27.0×19.4	1	「順正館」「桑名文庫」「菊」の朱印あり。152～164一括。	虫損大	110	勤仕
160	勤例類彙 三 回状雑集	(元文～安永)				縦帳	27.2×19.4	1	「順正館」「桑名文庫」「菊」の朱印あり。152～164一括。	虫損大	110	勤仕
161	勤例類彙 五 朝鮮人来朝一件	(延享5年)	1748			縦帳	27.1×19.4	1	「順正館」「桑名文庫」の朱印あり。152～164一括。内題「延享五年朝鮮人登城之節登城着座之覚」。	虫損大	110	勤仕
162	勤例類彙 六 家重公御隠居 家治公將軍宣下	(宝暦10年)	1760			縦帳	27.2×19.4	1	「順正館」「桑名文庫」の朱印あり。152～164一括。内題「將軍家重公御隠居右大将家治公御相続并將軍宣下御規式一件」。	虫損大	110	勤仕
163	勤例類彙 七 姫君様(御誕生)					縦帳	27.1×19.5	1	「順正館」「桑名文庫」「菊」の朱印あり。152～164一括。内題「御台様御懐胎萬寿姫君様御誕生御規式」。萬寿姫は徳川家治息女、のち尾張徳川治休室。	虫損大	110	勤仕
164	勤例類彙 全 礼勤之格	(江戸後期)				縦帳	26.9×19.4	1	「順正館」「桑名文庫」「菊」の朱印あり。152～164一括。「惣計十二巻脇坂家之所蔵也、今写而闕を補」とあり。	虫損大	110	勤仕

資料番号	表題	年月日	西暦	差出・作成	宛先	形態	法量 (縦×横 cm)	点数	備考	取扱注意事項 (挟み込み、保存 状態ほか)	分類 番号	分類名
165	御勤書 壹	文政12年10月～12月	1829			縦帳	27.1×19.4	1			110	勤仕
166	御勤書 貳	文政13年1月～5月	1830			縦帳	27.2×19.4	1			110	勤仕
167	御勤書 三	天保2年7月～12月	1831			縦帳	27.2×19.3	1			110	勤仕
168	御勤書 四	天保3年1月～5月	1832			縦帳	27.2×19.4	1			110	勤仕
169	御勤書 五	天保3年8月～12月	1832			縦帳	27.1×19.3	1			110	勤仕
170	御勤書 六	天保4年1月～5月	1833			縦帳	27.2×19.4	1			110	勤仕
171	御勤書 七	天保4年6月～12月	1833			縦帳	27.2×19.8	1			110	勤仕
172	御勤書 八	天保5年1月～5月	1834			縦帳	27.1×19.4	1	表紙には「至五月」とあり。内容は11月まで記載あり。		110	勤仕
173	御勤書 九	天保6年閏7月～12月	1835			縦帳	27.3×19.3	1			110	勤仕
174	御勤書 十	天保7年1月～6月	1836			縦帳	27.2×19.4	1			110	勤仕
175	勤例類彙 登城刻限并可心得条例	(江戸後期)				縦帳	27.2×19.5	1	「順正館」「桑名文庫」の朱印あり。	虫損大	110	勤仕
176	常時勤例 天	(江戸後期)				縦帳	27.0×19.4	1	「順正館」「桑名文庫」「菊」の朱印あり。	虫損大	110	勤仕
177	常時勤例 地	(江戸後期)				縦帳	27.1×19.4	1	「順正館」「桑名文庫」の朱印あり。176～178まで紐で一括。		110	勤仕
178	常時勤例 人	(江戸後期)				縦帳	27.0×19.4	1	「順正館」「桑名文庫」「菊」の朱印あり。		110	勤仕
179	御年譜附尾 従壹至参(松平・徳川家系譜)	(江戸)				縦帳	27.2×20.2	1	179～186まで紐で一括。清和天皇から徳川家康の死後、日光に祭るまでの系譜。	題箋剥離	106	家系
180	御年譜附尾 自四至六(松平・徳川家系譜)	(江戸)				縦帳	27.2×20.2	1	179～186、紐で一括。		106	家系
181	御年譜附尾 自七至九(松平・徳川家系譜)	(江戸)				縦帳	27.1×20.2	1	179～186、紐で一括。		106	家系
182	御年譜附尾 自十至十二(松平・徳川家系譜)	(江戸)				縦帳	27.2×20.2	1	179～186、紐で一括。		106	家系
183	御年譜附尾 自十三至十五(松平・徳川家系譜)	(江戸)				縦帳	27.2×20.2	1	179～186、紐で一括。		106	家系
184	御年譜附尾 自十六至十八(松平・徳川家系譜)	(江戸)				縦帳	27.2×20.2	1	179～186、紐で一括。		106	家系
185	御年譜附尾 自十九至廿二(松平・徳川家系譜)	(江戸)				縦帳	27.2×20.2	1	179～186、紐で一括。		106	家系
186	御年譜附尾 自廿三至廿五 終(松平・徳川家系譜)	(江戸)				縦帳	27.2×20.3	1	179～186、紐で一括。		106	家系
187	溜之間御詰御昇進之一件 一	寛政5年7月22日～7月29日	1793			縦帳	27.2×18.8	1	寛政5年、松平定信が老中を免ぜられ、溜間詰、少将に昇進した際の一件記録。黒印あり。	虫損、カビあり。	110	勤仕
188	溜之間御詰御昇進之一件 二	寛政5年8月1日～8月17日	1793			縦帳	27.2×18.7	1	黒印あり。	虫損、カビあり。	110	勤仕
189	溜之間御詰御昇進之一件 三	寛政5年8月18日～8月晦日	1793			縦帳	27.2×18.7	1	黒印あり。	虫損、欠損、カビあり。	110	勤仕
190	(溜之間御詰御昇進之一件 四)	寛政5年9月1日～9月30日	1793			縦帳	27.2×18.8	1	黒印あり。		110	勤仕
191	溜之間御詰御昇進之一件 五	寛政5年10月1日～11月(28日)	1793			縦帳	27.2×18.8	1	表紙には「至同十一月」とあり、日付はない。黒印あり。		110	勤仕
192	溜之間御詰御昇進之一件 六	寛政5年12月1日～12月29日	1793			縦帳	27.2×18.8	1	黒印あり。		110	勤仕
193	溜之間御詰御昇進之一件 七	寛政6年1月1日～1月晦日	1794			縦帳	27.2×18.8	1	黒印あり。	カビ、一部欠損あり。	110	勤仕
194	溜之間御詰御昇進之一件 八	寛政6年2月1日～4月16日	1794			縦帳	27.2×18.2	1	黒印あり。	虫損大	110	勤仕
195	溜之間御詰御昇進之一件 九	寛政6年4月17日～6月10日	1794			縦帳	27.0×18.2	1	黒印あり。		110	勤仕
196	御隠殿年中行事 再下調	(江戸後期)		御用人		縦帳	23.8×17.0	1	表紙に「守國院様・至誠院様 御繁昌 被為入候節 表奥御式御行事留也」とあり。		110	勤仕
197	江戸年中行事稿	(江戸後期)				縦帳	24.0×16.7	1	表題「稿」の部分に見せ消しあり。	一紙(天保期の問い合わせ記録など)貼付多数	110	勤仕
198	今年中行事(幕府年中行事)	(江戸後期)(7月～9月)				縦帳	26.9×18.8	1	「順正館」の朱印あり。将軍家重(惇信院)までの御霊屋拝礼の記事があるため、家治の在職中のものと思われる。		110	勤仕

資料番号	表題	年月日	西暦	差出・作成	宛先	形態	法量 (縦×横 cm)	点数	備考	取扱注意事項 (挟み込み、保存 状態ほか)	分類 番号	分類名
199	今年中行事(幕府年中行事)	(江戸後期)(10月～12月)				縦帳	26.9×18.8	1	「順正館」の朱印あり。		110	勤仕
200	尊号問題諫止之理由	(近代)				縦帳	24.7×16.8	1	青色24行罫紙使用。諸派の論説に批判・研究を加えたもの。表紙に朱印あり。	題箋「例書」挟み込み	112	情報
201	自明和元年至慶應三年一百拾貳年間財要畧記事	(近代)				縦帳	27.3×22.0	1	赤色26行柱題(版心)「大蔵省」の罫紙使用。当該期間の財政に関わる記事の年表。		112	情報
202	綱吉公將軍宣下之記 全	(延宝8年)	1680			縦帳	27.1×19.3	1	末尾に「此十二卷脇坂家所蔵也 今書録之具 補闕」とあり。小口に「日光一」とあり。 ⑦-1～14まで紐で一括。202～215、紐で一括。		110	勤仕
203	大猷院様御他界之記 全	(慶安3年)	1650			縦帳	27.3×19.5	1	202～215、紐で一括。内題「慶安三辛卯年四月廿日大猷院様御他界之節覚」、小口に「猷口(虫損)御他界」とあり。		110	勤仕
204	常時勤例 人	(江戸後期)				縦帳	27.2×19.3	1	202～215、紐で一括。小口に「常時人」とあり。		110	勤仕
205	會津侯御勤書 完	(江戸後期)				縦帳	27.6×19.8	1	202～215、紐で一括。小口に「會津家御勤書完」とあり。		110	勤仕
206	文政八乙酉年 女御入内二付 會津家京都御使御勤書 完	文政8年	1825			縦帳	26.8×20.0	1	202～215、紐で一括。内題「文政八乙酉年 女御入内 京都御使扣之下書」とあり。小口に「會津家京都御勤書 完」とあり。		110	勤仕
207	京都御使勤書 全(立坊御祝儀御使二付)	天保11年	1840			縦帳	27.2×20.0	1	202～215、紐で一括。		110	勤仕
208	會津家御勤書 完	(江戸後期)				縦帳	27.2×19.5	1	202～215、紐で一括。小口に「會津家御勤書 完」とあり。		110	勤仕
209	年始御規式 全	(江戸中期)				縦帳	27.2×19.5	1	202～215、紐で一括。「此十二卷脇坂家所蔵也 今書録之具補闕」とあり。小口に「年始御規式」とあり。		110	勤仕
210	古格勤例	(江戸後期)				縦帳	27.1×19.3	1	202～215、紐で一括。「享保年中～」あり。		110	勤仕
211	家重公御弘 天	(享保9年)	1724			縦帳	27.2×19.4	1	202～215、紐で一括。さらに211～213、紐で一括。小口に「家重公 御弘 天」とあり。		110	勤仕
212	家重公御元服 御官位 地	(享保10年)	1724			縦帳	27.1×19.5	1	202～215、紐で一括。さらに211～213、紐で一括。末尾に「此十二卷脇坂家所蔵也 今書録之具補闕」とあり。		110	勤仕
213	家重公西丸御移徒(ママ)之記 人	(享保10年)	1724			縦帳	27.2×19.5	1	202～215、紐で一括。さらに211～213、紐で一括。末尾に「此十二卷脇坂家所蔵也 今書録之具補闕」とあり。小口に「家重公御移徒(ママ) 人」とあり。		110	勤仕
214	御病後御禮一件	天保6年8月	1835			縦帳	27.2×19.5	1	202～215、紐で一括。		110	勤仕
215	常時勤例 地	(江戸後期)				縦帳	27.1×19.4	1	202～215、紐で一括。小口に「常時地」とあり。		110	勤仕
216	(京都市中投文張札書付等 覚)	(文久2～3年)	1862 ～ 1863			縦帳	26.0×18.2	1			112	情報
217	日記書抜 二 (江戸日記書抜)	天保13年～嘉永7年	1842 ～ 1854			縦帳	24.0×17.0	1			110	勤仕
218	日記書抜 三 (江戸日記書抜)	安政2年～(5年)	1855 ～ 1858			縦帳	23.9×16.6	1			110	勤仕

資料番号	表題	年月日	西暦	差出・作成	宛先	形態	法量 (縦×横 cm)	点数	備考	取扱注意事項 (挟み込み、保存 状態ほか)	分類 番号	分類名
219	三庁列座評議律総目録自一至五	(江戸)				縦帳	26.2×18.5	1			115	訴訟
220	三庁列座評議律総目録自六至拾	(江戸)				縦帳	26.2×18.5	1			115	訴訟
221	新選憲法秘録 九	寛政6年10月13日	1794			縦帳	26.5×18.4	1	朱印あり。表題は内題より。		115	訴訟
222	定信公御勤書 一	(天明5年12月1日～寛 政4年7月19日)	1785 ～ 1792			縦帳	27.2×19.5	1			110	勤仕
223	定信公御勤書 二	(寛政7年5月15日～寛 政8年5月15日)	(1795 ～ 1796)			縦帳	27.2×19.5	1			110	勤仕
224	定信公御勤書 三	(寛政9年5月9日～寛 政11年8月15日)	(1797 ～ 1799)			縦帳	27.2×19.5	1			110	勤仕
225	定信公御勤書 四	(享和2年3月4日～文 化1年5月1日)	(1802 ～ 1804)			縦帳	27.3×19.5	1			110	勤仕
226	定信公御勤書 五	(文化2年7月1日～文 化4年12月10日)	(1805 ～ 1807)			縦帳	27.1×19.4	1			110	勤仕
227	定信公御勤書 六	(文化5年1月1日～文 化7年9月8日)	(1808 ～ 1810)			縦帳	27.2×19.4	1			110	勤仕
228	不＝勤例(若君様御七夜御祝儀・初御目見に付)	(寛政4年)	(1792)			縦帳	27.4×20.0	1	＝(日へんに之)。若君様は徳川家斉 子・竹千代(早世)。		110	勤仕
229	溜詰勤書	天保11年1月～6月	1841			縦帳	27.0×20.0	1		付箋貼付あり。	110	勤仕
230	勤例類彙 大手御門通御等心得一件	(江戸)				縦帳	27.1×19.3	1	「順正館」「桑名文庫」「菊」の朱印あ り。彩色図あり。		110	勤仕
231	勤例類彙 琉球人来朝一件	(寛延1年)	1748			縦帳	27.1×19.4	1	「順正館」「桑名文庫」「菊」の朱印あ り。		110	勤仕
232	勤例類彙 琉球人来(朝)一件	(江戸後期)	(1748 ～ 1764)			縦帳	27.1×19.3	1	「順正館」「桑名文庫」「菊」の朱印あ り。 「宝暦二年中山王代替二付使者差上 候次第」「明和元年琉球人音楽之次 「順正館」「桑名文庫」「菊」の朱印あ り。徳川家基の御前髪被為執一件。		110	勤仕
233	勤例類彙 御前髪被為執一件	(安永7年)	1778			縦帳	27.2×19.4	1	「順正館」「桑名文庫」「菊」の朱印あ り。徳川家基の御前髪被為執一件。		110	勤仕
234	勤例類彙 日光御名代	(江戸後期)				縦帳	27.1×19.4	1	「順正館」「桑名文庫」「菊」の朱印あ り。 内題「四月廿日日光御霊屋御名代被		110	勤仕
235	日光御参詣聞書 壱	寛文3年	1663			縦帳	27.1×19.5	1	「菊」朱印あり。 末尾に「此十二卷脇坂家所蔵也 今 書録之具補闕」とあり。 235～237、紐で一括。		110	勤仕
236	日光御参詣聞書 二	寛文3年	1663			縦帳	27.1×19.6	1	「菊」朱印あり。 末尾に「此十二卷脇坂家所蔵也 今 書録之具補闕」とあり。235～237、紐 で一括。		110	勤仕
237	日光御参詣聞書 三 止	寛文3年	1663			縦帳	27.1×19.4	1	「菊」朱印あり。 末尾に「此十二卷脇坂家所蔵也 今 書録之具補闕」とあり。235～237、紐 で一括。		110	勤仕
238	日光御参詣聞書 一	寛文3年	1663			縦帳	27.2×19.6	1	238～240、紐で一括。		110	勤仕
239	日光御参詣聞書 二	寛文3年	1663			縦帳	27.2×19.4	1	238～240、紐で一括。末尾に「此十二 卷脇坂家所蔵也 今書録之具補闕」と あり。		110	勤仕
240	日光御参詣聞書 三	寛文3年	1663			縦帳	27.2×19.4	1	238～240、紐で一括。末尾に「此十二 卷脇坂家所蔵也 今書録之具補欠」と あり。		110	勤仕

資料番号	表題	年月日	西暦	差出・作成	宛先	形態	法量 (縦×横 cm)	点数	備考	取扱注意事項 (挟み込み、保存 状態ほか)	分類 番号	分類名
241	家重公御 = 天	(享保9年)	1724			縦帳	27.0×19.5	1	= (弓に口) 「菊」の朱印あり。 末尾に「此十二巻脇坂家所蔵也 今 書録之具補闕 文政十二年」とあり 241～243、紐で一括。		110	勤仕
242	家重公 御元版 御官位 地	(享保10年2月4日～7 月1日)	1725			縦帳	27.0×19.5	1	「菊」の朱印あり。 末尾に「此十二巻脇坂家所蔵也 今 書録之具補闕 文政十二年」とあり。		110	勤仕
243	家重公 西丸御移徒(マ)之記 人	(享保10年6月11日～8 月25日)	1725			縦帳	27.0×19.5	1	「菊」の朱印あり。 末尾に「此十二巻脇坂家所蔵也 今 書録之具補闕」とあり。		110	勤仕
244	玄猪之御祝儀 全	(江戸)				縦帳	27.0×19.4	1	末尾に「此十二巻脇坂家所蔵也 今 書録之具補闕」とあり。		110	勤仕
245	吉宗公戸田志村為追鳥狩 御成之留 全	(江戸)				縦帳	27.1×19.4	1	末尾に「此十二巻脇坂家所蔵也 今 書録之具補闕」とあり。彩色図あり。		110	勤仕
246	古格勤例	天保2年10月8日	1831	松平近江守定和(花 押)		縦帳	27.3×20.0	1	虫損大。取扱注意。 「古昔殿中勤向等之格例」「着服等之 古格聞書」「席之心得及ヒ古格」「享保 六年九月被為召御講代大名御直ニ上 意之趣如左」「享保年中老中衆被申合 候書附扣」 末尾に「為副本写之」とあり。	虫損大	110	勤仕
247	勤例類彙目録	(江戸)				縦帳	27.1×19.5	1	「常時勤例」(一～三)「勤例類彙」「不 時勤例」(巻之一～四)目録。 247～270、一括。		110	勤仕
248	勤例類彙 大手御門 通御等心得一件	(江戸)				縦帳	27.1×19.3	1	「番士平伏の場所」「桜田通御之節 御目見場所」(彩色)等の絵図あり。 247～270、一括。		110	勤仕
249	勤例類彙 御前髪被為執一件	(安永7年3月～4月)	1778			縦帳	27.1×19.3	1	247～270、一括。徳川家基の御前髪 被為執一件。		110	勤仕
250	勤例類彙 姫君様御誕生	(宝暦11年～12年)	(1761 ～ 1762)			縦帳	27.0×19.3	1	内題「御臺様御懐胎萬寿姫君様御誕 生御規式」。247～270、一括。萬寿姫 は徳川家治息女、のち尾張徳川治休 室。		110	勤仕
251	勤例類彙 若君様御誕生	(宝暦12年～明和3年)	(1762 ～ 1766)			縦帳	27.2×19.4	1	247～270、一括。若君様は徳川家 基。		110	勤仕
252	勤例類彙 吉宗公御他界一件	(寛延4年)	(1751)			縦帳	27.2×19.5	1	247～270、一括。		110	勤仕
253	勤例類彙 廻状雑集	(元文4年～安永4年)	(1739 ～ 1775)			縦帳	27.0×19.3	1	247～270、一括。		110	勤仕
254	勤例類彙 廻状雑集	(享保～安永)				縦帳	27.1×19.4	1	247～270、一括。		110	勤仕
255	勤例類彙 日光御名代	(江戸後期)				縦帳	27.1×19.4	1	光御宮等の絵図あり(一部彩色)。 247～270、一括。		110	勤仕
256	勤例類彙 登城刻限並刻可心得条例	(享保～天明)				縦帳	27.0×19.3	1	247～270、一括。		110	勤仕
257	勤例類彙 禮勤之格 全	(延享～天明)				縦帳	27.1×19.4	1	末尾に「惣計十二巻脇坂家所蔵也 令写而闕を補」とあり。 247～270、一括。		110	勤仕
258	勤例類彙 宝暦十一年御法會	宝暦11年	1761			縦帳	27.1×19.4	1	247～270、一括。		110	勤仕
259	勤例類彙 御轉任御兼任	(宝暦10年)	(1760)			縦帳	27.2×19.4	1	巻頭に「將軍家重公御轉任 大納言 家治公御兼任 御規式一件」。 247～270、一括。		110	勤仕
260	勤例類彙 吉宗公御隱居家重公將軍宣下	(延享2年～5年)	(1745 ～ 1748)			縦帳	27.2×19.5	1	巻頭に「將軍吉宗公御隱居右大将家 重公御相続一件」。 247～270、一括。		110	勤仕
261	勤例類彙 家重公御隱居 家治公將軍宣下	(宝暦10年)	(1760)			縦帳	27.0×19.3	1	巻頭に「將軍家重公御隱居 右大将 家治公御相続并將軍宣下 御規式一 件」		110	勤仕
262	勤例類彙 御元服	(享保10年)	(1725)			縦帳	27.2×19.4	1	247～270、一括。徳川家重の元服。		110	勤仕

資料番号	表題	年月日	西暦	差出・作成	宛先	形態	法量 (縦×横 cm)	点数	備考	取扱注意事項 (挟み込み、保存 状態ほか)	分類 番号	分類名
263	勤例類彙 鶏林人来朝之一件	延享5年	1748			縦帳	27.2×19.4	1	「鶏林」は朝鮮の異称。247～270、一括。		110	勤仕
264	勤例類彙 琉球人来朝一件	(寛延1年～2年)	(1748 ～ 1749)			縦帳	27.2×19.4	1	247～270、一括。		110	勤仕
265	勤例類彙 琉球人来朝一件	(宝暦2年)	(1752)			縦帳	27.1×19.4	1	巻頭に「宝暦二年中山王代替二付き使者差上候次第」とあり。247～270、一括。		110	勤仕
266	不時勤例 一 (安永五年日光社参等に付)	(享保～天明)				縦帳	27.0×19.3	1	「安永五申年日光御社参二付、大殿様定邦公(此節御病気也)之為御名代白川表え可罷越旨奉蒙命候二付、三月朔日在所え御暇被下置」他。247～270、一括。		110	勤仕
267	不時勤例 二 (天明三年四品昇進等に付)	(延享～天明)				縦帳	27.2×19.4	1	「天明三年四品昇進蒙仰候式」他。247～270、一括。		110	勤仕
268	不時勤例 三 (堂上方管弦拝聴等に付)	(宝暦～安永)				縦帳	27.1×19.0	1	「堂上方管弦拝聴之事」他。247～270、一括。		110	勤仕
269	不時勤例 四 (代替領地判物朱印状頂戴等に付)	(宝暦～寛政)				縦帳	27.2×19.3	1	「御代替二付宝暦十一年辛巳年十月領地御判物御朱印頂戴登城之節小笠原弾正少弼勤格」他。247～270、一括。		110	勤仕
270	不時勤例 (若君様御七夜御祝儀・初御目見に付)	(寛政4年)	(1792)			縦帳	27.2×19.4	1	247～270、一括。若君様は徳川家斉子・竹千代(早世)。		110	勤仕
271	溜詰格勤書 家齊公御隠居御代替御一件 天	(天保8年～9年)	(1837 ～ 1838)			縦帳	27.0×19.5	1	271～276、紐で一括。	題箋剥離、綴紐切れ	110	勤仕
272	溜詰格 御勤書 家齊公御隠居御代替御一件 地	(天保6年～8年)	(1835 ～ 1837)			縦帳	27.0×19.5	1	271～276、紐で一括。		110	勤仕
273	溜詰 御勤書	天保10年1月～12月	1839			縦帳	27.0×19.8	1	271～276、紐で一括。		110	勤仕
274	溜詰格 御勤書附録 家齊公御隠居將軍宣下御一件 一	(天保6年～8年)	(1835 ～ 1837)			縦帳	27.0×19.5	1	271～276、紐で一括。		110	勤仕
275	溜詰格 御勤書附録 家齊公御隠居將軍宣下御一件 二	(天保8年)	(1837)			縦帳	27.0×19.5	1	271～276、紐で一括。		110	勤仕
276	溜詰格 御勤書附録 家齊公御隠居將軍宣下御一件 三 終	(天保8年～9年)	1837 ～ 1838			縦帳	27.0×19.5	1	271～276、紐で一括。		110	勤仕
277	(定永公)御勤書 壹	文政12年10月～12月	1829			縦帳	27.0×19.5	1	⑨-1～10 紐で一括。		110	勤仕
278	定永公御勤書 貳	文政13年1月～5月	1830			縦帳	27.0×19.5	1			110	勤仕
279	定永公御勤書 参	天保2年7月～12月	1831			縦帳	27.0×19.5	1			110	勤仕
280	定永公御勤書 四	天保3年1月～5月	1832			縦帳	27.1×19.5	1			110	勤仕
281	定永公御勤書 五	天保3年8月～12月	1832			縦帳	27.0×19.5	1			110	勤仕
282	定永公御勤書 六	天保4年1月～5月	1833			縦帳	27.0×19.5	1			110	勤仕
283	定永公御勤書 七	天保4年6月～12月	1833			縦帳	27.0×19.5	1			110	勤仕
284	定永公御勤書 八	天保5年1月～5月	1834			縦帳	27.0×19.5	1			110	勤仕
285	定永公御勤書 九	天保6年閏7月～12月	1835			縦帳	27.0×19.5	1			110	勤仕
286	定永公御勤書 十	天保7年1月～6月	1836			縦帳	27.0×19.4	1			110	勤仕
287	東照宮御誕生日支干(マ)御相当御祝儀一件	(天明2年)	1782			縦帳	27.1×19.4	1	「菊」の朱印あり。287～292、紐で一括。	付箋1枚挟み込み	110	勤仕
288	玄猪之御祝儀 全					縦帳	27.0×19.6	1	「菊」朱印あり。末尾に「此十二巻脇坂家所蔵也 今書録之具補闕」とあり。287～292、紐で一括。		110	勤仕
289	吉宗公戸田志村為追鳥狩御成之留 全					縦帳	27.0×19.5	1	「菊」の朱印あり。「大鳥織部組留場」の彩色図あり。末尾に「此十二巻脇坂家所蔵也 今書録之具補闕」とあり。287～292、紐で一括。		110	勤仕

資料番号	表題	年月日	西暦	差出・作成	宛先	形態	法量 (縦×横 cm)	点数	備考	取扱注意事項 (挟み込み、保存 状態ほか)	分類 番号	分類名
290	大猷院様御他界之節覚	慶安3年4月20日	1650			縦帳	27.1×19.6	1	「菊」の朱印あり。 末尾に「十二巻脇坂家所蔵也 今書録之具補闕」とあり。287～292、紐で一括。		110	勤仕
291	綱吉公將軍宣下之記 全	(延宝8年)	1680			縦帳	27.0×19.4	1	「菊」の朱印あり。 末尾に「此十二巻脇坂家所蔵也 今書録之具補闕」とあり。 287～292、紐で一括。		110	勤仕
292	年始御規式 全	江戸前期				縦帳	27.2×19.4	1	「菊」の朱印あり。 末尾に「此十二巻脇坂家所蔵也 今書録之具補闕」とあり。 287～292、紐で一括。		110	勤仕
293	不時勤例 一 (安永五年日光社参等に付)	(安永～天明)				縦帳	27.0×19.4	1	「順正館」「桑名文庫」「菊」朱印あり。 安永5年日光社参関係他。		110	勤仕
294	不時勤例 二 (天明三年四品昇進等に付)	(延享～天明)				縦帳	27.0×19.2	1	「順正館」「桑名文庫」「菊」朱印あり。 「天明三年四品昇進蒙 仰候式」他。 松平定信、天明3年12月従四位下昇進。		110	勤仕
295	不時勤例 三 (堂上方管絃拝聴等に付)	(宝暦～安永)				縦帳	27.1×19.3	1	「順正館」「桑名文庫」「菊」朱印あり。 「堂上方管絃拝聴之事」他。		110	勤仕
296	不時勤例 四 止 (代替領地判物朱印状頂戴等に付)	(宝暦～寛政)				縦帳	27.0×19.5	1	「順正館」「桑名文庫」「菊」朱印あり。 「御代替二付宝暦十一年辛巳年十月領地御判物御朱印頂戴登城之節小笠原弾正少弼殿勤格」他。		110	勤仕
297	溜詰格 不時御勤書 一	天保4年～7年	1833 ～ 1836			縦帳	27.0×19.5	1	「溜詰格蒙仰候節之勤書」(天保4年7月)他。 297～302、紐で一括。		110	勤仕
298	溜詰格 不時御勤書 二	天保4年～9年	1833 ～ 1838			縦帳	27.0×19.5	1	「奥御能拝見勤書」(天保4年9月)他。 297～302、紐で一括。	題箋剥離、挟み込み	110	勤仕
299	溜詰格 不時御勤書 三	天保4年～9年	1833 ～ 1838			縦帳	27.0×19.5	1	「末姫君様御引移御婚礼之節勤書」(天保4年11月)他。297～302、紐で一括。末姫は徳川家斉息女。浅野斉肅室。		110	勤仕
300	溜詰格 不時御勤書 四	天保5年～8年	1834 ～ 1837			縦帳	27.0×19.5	1	「管絃聴聞勤書」(天保5～8年)他。 297～302、紐で一括。		110	勤仕
301	溜詰格 不時御勤書附録 上	天保4年～9年	1833 ～ 1838			縦帳	27.0×19.5	1	297～302、紐で一括。		110	勤仕
302	溜詰格 不時御勤書附録 下	天保5年～9年	1834 ～ 1838			縦帳	27.0×19.5	1	「香琳院様廿七回忌御忌御法事之事」(天保5年3月)他。香琳院は徳川家斉側室、家慶母)。 297～302、紐で一括。		110	勤仕
303	溜格 定時勤書 一	天保4年8月～12月	1833			縦帳	26.9×19.4	1	303～309、紐で一括。		110	勤仕
304	溜格 定時勤書 二	天保5年1月～4月	1834			縦帳	27.0×19.5	1	303～309、紐で一括。	「定時御勤書 二か六迄写無之」との付箋挟み込み	110	勤仕
305	溜格 定時勤書 三	天保5年5月～10月	1834			縦帳	26.9×19.2	1	303～309、紐で一括。		110	勤仕
306	溜格 定時勤書 四	天保6年閏7月～12月	1835			縦帳	26.9×19.5	1	303～309、紐で一括。		110	勤仕
307	溜格 定時勤書 五	天保7年1月～12月	1836			縦帳	27.1×19.5	1	303～309、紐で一括。		110	勤仕
308	溜格 定時勤書 六	天保8年1月～12月	1837			縦帳	27.1×19.5	1	303～309、紐で一括。		110	勤仕
309	溜詰格 定時御勤書 七	天保9年3月～天保10年1月	1838 ～ 1839			縦帳	26.9×19.4	1	303～309、紐で一括。		110	勤仕
310	由緒 一(天明由緒写)	(江戸後期)				縦帳	23.5×16.0	1	表題は小口より、「天明由緒」写か。 朱書の加筆あり、「松平」の朱印あり。		108	家臣

資料番号	表題	年月日	西暦	差出・作成	宛先	形態	法量 (縦×横 cm)	点数	備考	取扱注意事項 (挟み込み、保存 状態ほか)	分類 番号	分類名
311	由緒 二(天明由緒写)	(江戸後期)				縦帳	23.5×16.0	1	表題は小口より、「天明由緒」写か。朱書の加筆あり、「松平」の朱印あり。		108	家臣
312	由緒 三(天明由緒写)	(江戸後期)				縦帳	23.6×16.0	1	表題は小口より、「天明由緒」写か。朱書の加筆あり、「松平」の朱印あり。		108	家臣
313	由緒 四(天明由緒写)	(江戸後期)				縦帳	23.5×16.2	1	表題は小口より、「天明由緒」写か。「松平」の朱印あり。		108	家臣
314	由緒 五(天明由緒写)	(江戸後期)				縦帳	23.6×16.1	1	表題は小口より、「天明由緒」写か。朱書の加筆あり、「松平」の朱印あり。		108	家臣
315	由緒 六(天明由緒写)	(江戸後期)				縦帳	23.5×15.9	1	表題は小口より、「天明由緒」写か。朱書の加筆あり、「松平」の朱印あり。		108	家臣
316	由緒 七(天明由緒写)	(江戸後期)				縦帳	23.6×16.1	1	表題は小口より、「天明由緒」写か。朱書の加筆あり、「松平」の朱印あり。		108	家臣
317	由緒 九(天明由緒写)	(江戸後期)				縦帳	23.6×16.2	1	表題は小口より、「天明由緒」写か。朱書の加筆あり、「松平」の朱印あり。		108	家臣
318	続由緒 一(続天明由緒写)	(江戸後期)				縦帳	23.6×16.1	1	表題は小口より、「続天明由緒」写か。「松平」の朱印あり。		108	家臣
319	続由緒 二(続天明由緒写)	(江戸後期)				縦帳	23.6×16.0	1	表題は小口より、「続天明由緒」写か。朱書の加筆あり、「松平」の朱印あり。		108	家臣
320	続由緒 三(続天明由緒写)	(江戸後期)				縦帳	23.5×16.1	1	表題は小口より、「続天明由緒」写か。「松平」の朱印あり。		108	家臣
321	続由緒 五(続天明由緒写)	(江戸後期)				縦帳	23.5×16.0	1	表題は小口より、「続天明由緒」写か。「松平」の朱印あり。		108	家臣
322	続由緒 六(続天明由緒写)	(江戸後期)				縦帳	23.6×16.0	1	表題は小口より、「続天明由緒」写か。「松平」の朱印あり。		108	家臣
323	続由緒 七(続天明由緒写)	(江戸後期)				縦帳	23.5×16.0	1	表題は小口より、「続天明由緒」写か。「八夕」の朱印あり。		108	家臣
324	続由緒 九上(続天明由緒写)	(江戸後期)				縦帳	23.6×16.0	1	表題は小口より、「続天明由緒」写か。「八夕」の朱印あり。		108	家臣
325	続由緒 九下(続天明由緒写)	(江戸後期)				縦帳	23.6×16.1	1	表題は小口より、「続天明由緒」写か。朱書の加筆あり、「八夕」の朱印あり。		108	家臣
326	続由緒 十(続天明由緒写)	(江戸後期)				縦帳	23.5×16.0	1	表題は小口より、「続天明由緒」写か。「八夕」の朱印あり。		108	家臣
327	続由緒 十一(続天明由緒写)	(江戸後期)				縦帳	23.6×16.0	1	表題は小口より、「続天明由緒」写か。「松平」の朱印あり。		108	家臣
328	続由緒 十二(続天明由緒写)	(江戸後期)				縦帳	23.6×16.0	1	表題は小口より、「続天明由緒」写か。「八夕」の朱印あり。		108	家臣
329	(藩札交換紀事 前篇)	(明治)				縦帳	26.8×19.1	1	「大蔵省」原稿用紙使用。			
330	公事方御定書	寛保2年3月27日	1742	牧野越中守(貞道) 他45名		縦帳	31.1×22.9	1	寛保2年 松平左近将監の奥書あり。「目安裏書初判之事」以下全103項目。朱書あり。		115	訴訟
331	(公事方御定書)	(寛保2年力)	1742			縦帳	31.0×23.1	1	題箋剥離、取扱注意。「評定所始之事」以下全81項目。奥書なし。本文のみ。朱書あり。		115	訴訟
332	御國絵図 被仰出 御窺 御献上 一卷(伊勢国絵図に付)	(元禄10年～15年)	1697 ～ 1702			縦帳	32.1×23.6	1			103	領地支配
333	紀州領 尋書并返答之品(伊勢国絵図改に付)	元禄14年6月	1701			縦帳	32.1×23.7	1			103	領地支配
334	伊勢國桑名郡・員辨郡・朝明郡・三重郡・越後國魚沼郡・苅羽郡・三島郡・蒲原郡之内郷村高帳	文政6年9月	1823	柴田善之丞印 他6名	松下内匠殿	縦帳	33.1×22.9	1	写し。陸奥白川から伊勢桑名へ所替に際して作成されたもの。松下内匠請取の奥書あり。(松下内匠印→松平越中守(定永)殿御用人中) 334、335、紐で一括。		103	領地支配
335	陸奥国・越後国之内領知郷村高辻帳	宝暦10年9月	1760	松平越中守(定賢)	松平和泉守(乗祐)殿・戸田采女正(氏英)殿	縦帳	31.6×22.2	1	写し。「印判」「居判」等の付箋あり。334、335、紐で一括。		103	領地支配
336	領分附伊勢国郷帳	元禄13年12月	1701	松平越中守(定重)・板倉周防守(重冬)		縦帳	31.5×22.5	1			103	領地支配

資料番号	表題	年月日	西暦	差出・作成	宛先	形態	法量 (縦×横 cm)	点数	備考	取扱注意事項 (挟み込み、保存 状態ほか)	分類 番号	分類名
337	(臣下の善言・諫言に付覚)					一紙	①18.8×7.5 ②20.9×12.0	2		付札2枚糊はがれ。338より剥離したもののか。	122	建白・意見
338	上(人君の心得・学問等に付上書)					縦帳	27.8×19.9	1		付札剥離、挟み込みあり。	122	建白・意見
339	邸宅一件(大久保村地所一件)	明治6年10月～	1873 ～			縦帳	24.0×17.0	1	「西大久保村御地所取扱之部」を含む。表紙に「大久保村地所一件」とあり。		113	土木・建築
340	(公事方御定書)	(江戸後期)				縦帳	31.1×23.0	1	題箋剥離。「隠鉄砲玉菓売候もの御仕置之事」以下全79項目。		115	訴訟
341	布告書(執達所設置他諸事布告写)	(明治)				縦帳	24.0×17.1	1			101	法令・達書
342	(御三家対応控)	(天明6年～寛政3年)	1786 ～ 1796			縦帳	27.0×19.2	1	尊号之議等について御三家に対応した内容の覚書。		110	勤仕
343	御文の写(崇源院宛徳川家康書状写)					縦帳	29.9×18.9	1	「白河」「栞名」「楽亭文庫」の朱印あり。表題は題箋より。	題箋剥離、挟み込み	125	蔵書
344	定信公御自翰写 月番心得 全(家中月番役に付)	天明7年	1787			縦帳	28.8×19.5	1	朱印あり。		110	勤仕
345	立教館令条 全	文化6年10月19日	1809	(松平)定信(花押)		縦帳	26.3×19.2	1	刊本。版心題「栞名版學館蔵梓」。		124	学芸
346	少将様御自筆写 月番心得御規定一冊	文化6年10月17日	1809	白川 月番		縦帳	28.6×20.5	1	表題年月日は袋より。文書の表題は「月番心得規定」。	虫損大、袋破れ	110	勤仕
347	服忌受方御内規矩	寛政9年8月	1797			縦帳	28.3×20.3	1	家中の服忌日数、定式一覧表あり。		121	冠婚葬祭
348	御當家御遺状(御遺状百箇条)	(江戸)				縦帳	27.9×20.4	1	内題「御當家御遺状百箇条」。	かぶせ綴じ破れ	125	蔵書
349	御在城申送抜書	嘉永4年1月～6月	1851	御側役		縦帳	24.1×17.3	1			110	勤仕
350	酒井氏日記之写(酒井孫八郎日記写)	慶應4年1月～明治2年8月	1868 ～ 1869			縦帳	26.7×19.0	1	「松平文庫」朱印あり。表紙には「従明治元正月至二年八月」とあり。		110	勤仕
351	定綱公御話秘記 完	天保4年	1833			縦帳	27.4×18.9	1	内題「定綱公御軍法秘書 完」とあり。模写させた旨の奥書と「天保4年初夏(松平)定和」の署名あり。		106	家系
352	御系譜定綱公記 完					縦帳	23.8×16.4	1	「御系図」「松平越中守従四位下源定綱公記」を含む。「加治蔵」他1種の朱印あり。		106	家系
353	(御系譜 完)	(江戸後期)				縦帳	27.1×19.4	1	久松松平家家譜。定綱から定信まで記載あり。黒色10行罫紙(柱題「集古堂」)使用。	題箋剥離、挟み込み	106	家系
354	(久松松平家家譜)					縦帳	27.0×19.4	1	352～355、紐で一括。 定儀公およびその生母、子女のみ。1丁目下に「六」とあり。		106	家系
355	服忌令 全	(江戸後期)				縦帳	27.5×18.8	1	地小口に「服忌受方御内規矩」とあり。352～355、紐で一括。	一紙15枚挟み込み、題箋剥離、挟み込み	101	法令・達書
356	元文より文化迄 御書付類 全(公事・仕置等に付)					縦帳	27.0×19.5	1	幕府記録の写し。		115	訴訟
357	年中行事 一 (江戸幕府年中行事)	(江戸後期)				縦帳	26.6×18.9	1	御礼、御目見、將軍の御霊屋参詣等。 正月元日～正月晦日。		110	勤仕
358	年中行事 二 (江戸幕府年中行事)	(江戸後期)				縦帳	26.8×18.9	1	2月朔日～3月28日。 357～361、紐で一括。		110	勤仕
359	年中行事 三 (江戸幕府年中行事)	(江戸後期)				縦帳	26.7×18.9	1	4月朔日より6月晦日。 357～361、紐で一括。		110	勤仕
360	年中行事 四 (江戸幕府年中行事)	(江戸後期)				縦帳	26.8×18.9	1	7月朔日から9月晦日。 357～361、紐で一括。		110	勤仕
361	年中行事 五止 (江戸幕府年中行事)	(江戸後期)				縦帳	26.7×18.9	1	10月朔日～12月晦日。 357～361、紐で一括。		110	勤仕
362	御達書 天	寛永～元文				縦帳	27.1×19.5	1	幕府よりの御達書。		101	法令・達書

資料番号	表題	年月日	西暦	差出・作成	宛先	形態	法量 (縦×横 cm)	点数	備考	取扱注意事項 (挟み込み、保存 状態ほか)	分類 番号	分類名
363	御達書 地	寛文～宝暦				縦帳	27.1×19.5	1	幕府よりの御達書。		101	法令・達書
364	衆名置付 御側行事	(江戸後期)				縦帳	24.1×17.2	1	「御意御規定」「御手前御精進御規定」ほか。	一紙1枚あり	110	勤仕
365	御手元金・御小納戸金・奥御内用金・御賄金・公用金・諸渡し切金 減し方訳書	(江戸後期)				縦帳	24.5×17.4	1	表紙に「寛政三亥年より改正」とあり。		116	財政
366	被進被下御腰物牒	天保5年1月	1833	御側役頭取、御側役		縦帳	31.5×23.5	1			110	勤仕
367	文久史参考	(文久3年)	1863			縦帳	24.0×17.0	1	「真木和泉保臣建白 論回天大策」「安井仲平 衡建議 論攘夷機会」「大隅守島津建言 論国是」「島攘夷奏聞」と表紙にあり。=は「鹿」の下に「兎」。		112	情報
368	松平氏部類目録 全	享保6年11月	1721			縦帳	27.4×19.2	1	朱印2顆。末尾に「享保六辛丑佐々木平右衛門より借写可秘」とあり。		106	家系
369	松平右京大夫様御息女朽木隠岐守様江御縁組一件 全					縦帳	27.6×19.3	1	松平右京大夫息女總姫と朽木土佐守嫡子弥五郎の縁組。		112	情報
370	御系譜(久松松平家系譜)	(明治)				縦帳	27.5×20.0	1	一紙1枚(賞賜金品覚)挟み込みあり。取扱注意。松平定綱から定教までの事跡と系図。		106	家系
371	御自筆之扣(屋敷・土蔵・大御前様預金等に付)	文化3年4月	1806			縦帳	25.4×17.8	1	裏表紙に一紙1枚あり(こよりで綴紐と結び付けられていた)。		116	財政
372	三和覚書抄 三冊之内 全	(江戸後期)				縦帳	23.7×16.3	1	「定綱公大坂供奉之事」「御軍令之御書出之事」ほか。372、373一括。		108	家臣
373	三輪録 三冊之内 全	(江戸後期)	1784			縦帳	23.6×16.3	1	冒頭に「家伝雑書之内抜書或古老口談并正疑私考」とあり。372、373一括。		108	家臣
374	定信公御逝去一件	文政12年2月～	1829	御留守居方		縦帳	27.4×19.2	1			110	勤仕
375	家中諸法度・聖学諺解	文政6年8月	1823			縦帳	24.4×16.8	1	年代は家中諸法度による。		125	蔵書
376	守国院様御逝去御調下記録	文政12年5月13日	1829			縦帳	25.1×17.7	1	表紙に「文政十二己巳五月十三日御発五月廿九日」とあり。		112	情報
377	御小刀銘覚					縦帳	24.1×17.6	1			123	武芸・兵学
378	支配取扱記	明治3年5月～	1870	御家扶		縦帳	24.8×17.4	1	一紙のうち1枚は「桑名藩旧蔵書」の朱印。	一紙3枚挟み込み	110	勤仕
379	御届伺留	明治3年1月～	1870	御書所		縦帳	27.9×20.0	1	小口に「伺届午」とあり。	一紙1枚挟み込み、付箋はがれ	110	勤仕
380(1)	継子を折鑑(ママ)いたし候ひて一件御仕置伺	卯11月		大久保主膳正・高力主計頭		縦帳	24.0×17.2	1	380(1)(2)合綴。	付札1枚剥離、挟み込み	115	訴訟
380(2)	ひて一件御仕置当書付	卯11月		大久保主膳正・高力主計頭					380(1)(2)合綴		115	訴訟
381	天明卯辰記録抄出 九 (凶作のため人別扶持仰付に付)	(天明3年～4年)	1783 ～ 1784			縦帳	24.1×16.7	1	内題「御内密調 記録抄出」		110	勤仕
382	凶作二付霜月朔日ヨリ人別扶持 積り帳	天明3年	1783			縦帳	23.4×16.1	1			102	知行・俸禄
383	御届伺留 一	慶應4年1月～・明治2年晩秋～	1868	御書所		縦帳	27.3×19.0	1			110	勤仕
384	御届伺留	明治4年1月～	1871	史口(虫損、「局」力)		縦帳	28.0×20.3	1			110	勤仕
385	(大名・諸役人等種々規式書上 一)	(江戸後期)				縦帳	26.5×18.9	1			110	勤仕
386	(大名・諸役人等種々規式書上 二)	(江戸後期)				縦帳	26.5×18.8	1			110	勤仕
387	(大名・諸役人等種々規式書上 三)	(江戸後期)				縦帳	26.5×18.8	1			110	勤仕
388	(大名・諸役人等種々規式書上 四)	(江戸後期)				縦帳	26.5×18.8	1			110	勤仕
389	(大名・諸役人等種々規式書上 五)	(江戸後期)				縦帳	26.5×18.8	1			110	勤仕
390	(大名・諸役人等種々規式書上 六)	(江戸後期)				縦帳	26.5×18.8	1			110	勤仕
391	(大名・諸役人等種々規式書上 七)	(江戸後期)				縦帳	26.5×18.8	1			110	勤仕
392	(伏見絵図)	(江戸)				図	175.3×245.0	1	彩色		130	絵図

資料番号	表題	年月日	西暦	差出・作成	宛先	形態	法量 (縦×横 cm)	点数	備考	取扱注意事項 (挟み込み、保存 状態ほか)	分類 番号	分類名
393	近江国伊勢境縁絵図	元禄14年2月	1701	井伊掃部頭(直該)内 佐成左太衛門(黒 印)・同人内 宇津木 三四郎(黒印)・同人 内 高宮辰右衛門 (黒印)・本多隠岐守 (康慶)内 川上傳左 衛門(黒印)・鳥居播 磨守内 柴垣郷右衛	松平越中守(定 重)様御内 関戸 左衛門殿・板 倉周防守(重冬) 様御内 松本弥 市兵衛殿・多賀 源左衛門殿	図	83.1×215.3	1	彩色、封紙あり。封題「近江国伊勢境 縁絵図」。法量は概算。	一部継目外れ、水 濡れ、カビのあと	130	絵図
394	(志摩国度会郡紀伊境湊および浦々海路絵図)					図	161.0×187.0	1	彩色。393の封紙に一括。法量は概 算。	一部継目外れ	130	絵図
395	(伊勢国湊および浦々海路絵図)					図	321.1×187.8	1	彩色、津城・桑名城の記載あり。393 の封紙に一括。法量は概算。	一部破損、一部継 目外れ、水濡れ、 カビのあと	130	絵図
396	(志摩国伊勢境端絵図)	元禄13年9月13日	1700	松平源次郎(のち乗 邑)内 矢野弥五左 衛門(黒印)	松平越中守(定 重)様御内 関戸 左衛門殿・板 倉周防守(重冬) 様内 多賀源左 衛門殿・松本弥 市兵衛殿	図	54.5×206.5	1	彩色。	水濡れ、カビのあ と	130	絵図
397	勢州亀山領絵図					図	159.0×95.4	1	彩色。縦の法量は5枚並べた時の概 算。	継目外れ(全体が 5枚に分割)、付紙 剥離、水濡れ、カ ビのあと	130	絵図
398	勢州亀山領絵図					図	130.5×98.0	1	彩色。縦の法量は15枚並べた時の概 算。	継目外れ(全体が 15枚に分割)、付 紙・付札剥離多 数、水濡れ、カビ	130	絵図
399	伊勢国亀山領絵図					図	39.0×26.0	1	封紙のみ。法量は概算。	継目外れ、水濡 れ、カビのあと	130	絵図
400	伊勢国桑名郡長島絵図	元禄11年5月	1678			図	150.0×169.0	1	彩色。法量は概算。	継目外れ(全体が 8枚に分割)、絵図 一番下の2枚分が 欠、付紙・付札剥 離多数	130	絵図
401(1)	桑名前脩遺書 第一編	明治24年11月15日出版	1891	桑名前脩遺書編纂取 扱(所)		縦帳	24.2×16.8	1	刊本。表紙右上に朱書で「進呈」とあ り。内容は「蒙齋先生文集」。	虫損大、一部開披 不能	199	その他
401(2)	桑名前脩遺書 第二編	明治24年10月26日出版	1891	桑名前脩遺書編纂取 扱所		縦帳	24.2×16.8	1	刊本。表紙右上に朱書で「進呈」とあ り。内容は「蒙齋先生文集」。	虫損大、一部開披 不能	199	その他
401(3)	桑名前脩遺書 第四編	明治25年1月25日出版	1892	桑名前脩遺書編纂取 扱所		縦帳	24.2×16.9	1	刊本。表紙右上に朱書で「進呈」とあ り。内容は「蒙齋先生文集」。	虫損大、一部開披 不能	199	その他
401(4)	桑名前脩遺書 第五編	明治25年2月15日出版	1892	桑名前脩遺書編纂取 扱所		縦帳	24.2×16.9	1	刊本。表紙右上に朱書で「進呈」とあ り。内容は「蒙齋先生文集」。	虫損大	199	その他
401(5)	桑名前脩遺書 第六編	明治25年3月25日出版	1892	桑名前脩遺書編纂取 扱所		縦帳	24.2×16.9	1	刊本。表紙右上に朱書で「進呈」とあ り。内容は「蒙齋先生文集」。	虫損大、一部開披 不能	199	その他
401(6)	桑名前脩遺書 第七編	明治25年4月15日出版	1892	桑名前脩遺書編纂取 扱所		縦帳	24.2×16.9	1	刊本。表紙右上に朱書で「進呈」とあ り。内容は「蒙齋先生文集別録」「毅齋 先生詩稿」。	虫損大、一部開披 不能	199	その他
401(7)	桑名前脩遺書 第八編	明治25年5月15日出版	1892	桑名前脩遺書編纂取 扱所		縦帳	24.2×16.9	1	刊本。表紙右上に朱書で「進呈」とあ り。内容は「蒙齋先生文集別録」「毅齋 先生詩稿別録」。	虫損大、一部開披 不能	199	その他
401(8)	桑名前脩遺書 第九編	明治25年6月15日出版	1892	桑名前脩遺書編纂取 扱所		縦帳	24.2×16.9	1	刊本。表紙右上に朱書で「進呈」とあ り。内容は「蒙齋先生文集別録」「遺 事」。	虫損大、一部開披 不能	199	その他
401(9)	桑名前脩遺書 第十編	明治25年7月15日出版	1892	桑名前脩遺書編纂取 扱所		縦帳	24.2×16.9	1	刊本。表紙右上に「本郷従四位様」と あり。内容は内容は「蒙齋先生文集別 録」「毅齋先生詩稿別録」。	虫損大、一部開披 不能	199	その他

資料番号	表題	年月日	西暦	差出・作成	宛先	形態	法量 (縦×横 cm)	点数	備考	取扱注意事項 (挟み込み、保存 状態ほか)	分類 番号	分類名
401(10)	栞名前脩遺書 第十一編	明治25年8月15日出版	1892	栞名前脩遺書編纂取 扱所		縦帳	24.2×16.8	1	刊本。表紙右上に「弓町様」とあり。内 容は「蒙齋先生文集別録」「遺事」。	虫損大、一部開披 不能	199	その他
401(11)	栞名前脩遺書 第十一編附録	明治25年8月15日出版	1892	栞名前脩遺書編纂取 扱所		縦帳	24.2×16.9	1	刊本。内容は「養痾漫録」。	虫損大	199	その他
401(12)	栞名前脩遺書 第十二編	明治25年9月15日出版	1892	栞名前脩遺書編纂取 扱所		縦帳	24.2×16.8	1	刊本。表紙右上に「弓町様」とあり。内 容は「蒙齋先生文集別録」。	虫損大、一部開披 不能	199	その他
401(13)	栞名前脩遺書 第十三編	明治25年10月15日出 版	1892	栞名前脩遺書編纂取 扱所		縦帳	24.2×16.9	1	刊本。表紙右上に「弓町様行」とあり。 内容は「蒙齋先生文集別録」。	虫損大、一部開披 不能	199	その他
401(14)	栞名前脩遺書 第十四編	明治25年11月15日出 版	1892	栞名前脩遺書編纂取 扱所		縦帳	24.2×16.9	1	刊本。表紙右上に「弓町様」とあり。内 容は「蒙齋先生文集別録」。	虫損大、一部開披 不能	199	その他
401(15)	栞名前脩遺書 第十四編附録	明治25年11月15日出 版	1892	栞名前脩遺書編纂取 扱所		縦帳	24.2×16.9	1	刊本。内容は「養痾漫録」。	虫損大、一部開披 不能	199	その他
401(16)	栞名前脩遺書 第十五編	明治25年12月15日	1892	栞名前脩遺書編纂取 扱所		縦帳	24.2×16.8	1	刊本。表紙右上に「弓町様」とあり。内 容は「蒙齋先生文集別録」。	虫損大、一部開披 不能	199	その他
401(17)	栞名前脩遺書 第十六編	明治26年1月15日	1893	栞名前脩遺書編纂取 扱所		縦帳	24.1×16.9	1	刊本。表紙右上に「弓町様」とあり。内 容は「陸奥九家世紀」。	虫損大、一部開披 不能、水濡れあと	199	その他
401(18)	栞名前脩遺書 第十七編	明治26年2月15日	1893	栞名前脩遺書編纂取 扱所		縦帳	24.2×16.9	1	刊本。表紙右上に「弓町様」とあり。内 容は「陸奥九家世紀」。	虫損大、一部開披 不能	199	その他
401(19)	栞名前脩遺書 第十八編	明治26年3月15日	1893	栞名前脩遺書編纂取 扱所		縦帳	24.2×16.8	1	刊本。表紙右上に「弓町様」とあり。内 容は「陸奥九家世紀」「恒齋先生遺 稿」。	虫損大、一部開披 不能	199	その他
401(20)	栞名前脩遺書 第十九編	明治26年4月15日	1893	栞名前脩遺書編纂取 扱所		縦帳	24.2×16.9	1	刊本。表紙右上に「弓町様」とあり。内 容は「恒齋先生遺稿」。	虫損大、一部開披 不能	199	その他
401(21)	栞名前脩遺書 第二十編	明治26年5月15日	1893	栞名前脩遺書編纂取 扱所		縦帳	24.2×16.9	1	刊本。表紙右上に「弓町様」とあり。内 容は「果堂先生遺稿」。	虫損大、一部開披 不能	199	その他
401(22)	栞名前脩遺書 第廿一編	明治26年5月15日	1893	(栞名町)星野恭藏 (栞名前脩遺書編纂 取扱所)		縦帳	24.2×16.9	1	刊本。表紙右上に「弓町様」とあり。内 容は「果堂先生遺稿」「蘭堂先生遺 草」。	虫損大、一部開披 不能	199	その他
401(23)	栞名前脩遺書 第廿二編	明治26年7月15日	1893	(栞名町)星野恭藏 (栞名前脩遺書編纂 取扱所)		縦帳	24.2×16.9	1	刊本。表紙右上に「弓町様」とあり。内 容は「白賁堂先生文鈔」。	虫損大、一部開披 不能	199	その他
401(24)	栞名前脩遺書 第廿三編	明治26年8月15日	1893	(栞名町)星野恭藏 (栞名前脩遺書編纂 取扱所)		縦帳	24.2×16.8	1	刊本。表紙右上に「弓町様」とあり。内 容は「白賁堂先生文鈔」。	虫損大、一部開披 不能	199	その他
401(25)	栞名前脩遺書 第廿四編	明治26年9月15日	1893	(栞名町)星野恭藏 (栞名前脩遺書編纂 取扱所)		縦帳	24.2×16.9	1	刊本。表紙右上に「弓町様」とあり。内 容は「白賁堂先生文鈔」「白賁堂先生 詩鈔」「白賁堂先生詠藻」。	虫損大、一部開披 不能	199	その他
401(26)	栞名前脩遺書 第廿五編	明治26年10月15日	1893	(栞名町)星野恭藏 (栞名前脩遺書編纂 取扱所)		縦帳	24.2×16.9	1	刊本。表紙右上に朱書で「進呈」とあ り。内容は「白賁堂先生講義」。	虫損大、一部開披 不能	199	その他
401(27)	栞名前脩遺書 第廿六編	明治26年11月15日	1893	(栞名町)星野恭藏 (栞名前脩遺書編纂 取扱所)		縦帳	24.2×16.8	1	刊本。表紙右上に「弓町様」とあり。内 容は「白賁堂先生講義」。	虫損大、一部開披 不能	199	その他
401(28)	栞名前脩遺書 第二十七編	(明治26年)	1893	(栞名町)星野恭藏 (栞名前脩遺書編纂 取扱所)		縦帳	24.2×16.9	1	刊本。表紙右上に朱書で「弓町様」と あり。内容は「澹庵先生遺稿」「遺事」 「白賁堂先生経説」。	虫損大、一部開披 不能、後欠	199	その他